

学生番号：473088

氏名：榎田 雄一郎

## 自己紹介：

---



榎田 雄一郎 (Yuichiro ENOKIDA)

1966年1月、京都市北区に生まれる  
現在大阪府高槻市在住

単車と写真と山と川と釣りと映画と映像と音響と空気  
と水とを均等に楽しみたいと思っている

内訳

単車： HONDA CBX 400F (Blue/Red/White)  
HONDA CB-1 (Blue Metallic)  
写真： Canon AE-1 (80, Silver)  
映画： 古典： ギリアム、キューブリック、黒澤  
最近： GATTACA、snatch、クロコダイルの涙、黒沢清、The Cell  
未来： チゴインエルワイゼン  
山： 子供のころに通った京都の北山。  
川： どこでもいいからきれいな沢。  
釣り： 最近していない。溪流、船。食べられる魚限定。

## 最近考えること：

前世紀は戦争と重化学工業の世紀だといわれた。今世紀は生命科学の100年となることがほぼ約束されている。人間の平均寿命は上がりつづけ、100歳まで生きるとは珍しいことではない。今現在80歳をこえている人たちが100歳まで生き続ける率は、今100歳になっている人たちの20年前からの生存率より高い。更にさかのぼって現在から90年前に10歳の子供が「僕は100歳まで生きる」と宣言したとしたら、それはどれほど奇異に聞こえただろう。

同じように、私と同世代の人たちの多くが100歳をはるかにこえて、150歳まで生きるという想像も、それほど非現実的なものではない。我々は150歳まで生きるのだ。

数年前、マービン・ミンスキーが京都賞受賞のために宝ヶ池の国際会議場で講演を行った。聴衆に向けられた冒頭の一言は「あなたは200歳まで生きたいと思いますか？」というものだった。私は高く手を挙げたが、そう応えたのは全体の20%もいなかったようにおもう。

私はこの先100年の未来を見てみたい。その時世界がどのようなになっていても、我が身がどんな姿になっていてもいい。ただ100年先の未来を見てみたいと思う。

今100歳を迎えようとしている人たちにとって、現在はどうのように見えているだろう。

## もう一つ：

**映画**が好きなので**適当**なものを見て回っているが、最近でのあたりは **snatch!** だった。ブラッド・ピットは脇役に過ぎないのだが、非常に汚い(人間性がではなく身なりが)役で、おまけに訛りが激しく(字幕も「」ってな感じ)、何を言ってるのかさっぱりわからない。「River Runs Through It」では確信犯的な**ロバート・レッドフォード**そっくりさんをやっているが、これとの対照が何とも言えない。

(こうやって字種をコロコロ変えとかえて読みづらい文章になるという見本)